

学校 教育 目標	「笑顔がすてき いいこといっぱい 下和泉」～ ふれあい 認め合い 学び合い ～			
	○自ら課題を見出し、共に学び合うことで基礎・基本を身につけ、主体的に学ぶ態度を育てます。【知】 ○進んで自分らしさを発揮し、自分のよさを伸ばせるとともに、他の人との違いも認め合うことができる子どもを育てます。【徳】 ○健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子どもを育てます。【体】 ○共に学び合い、地域社会の一員として、より豊かな人間関係を築ける子どもを育てます。【公】 ○様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。【開】			
学校 概要	創立 51 周年	学校長 船木 淳	副校長 吉田 直好	2 学期制 一般学級：13 個別支援学級：7
	児童生徒数： 404 人 主な関係校： 泉が丘中学校 中和田南小学校 伊勢山小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	泉が丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分らしさを発揮しようとする姿勢> <多様性を尊重する態度> <思いや考えを表現する力>	泉が丘中 下和泉小学校 中和田南小学校	○進んで人や地域と関わり、自他のよさに気付ける子ども ○これまでの学びをこれからの学びに生かしていくことが子ども ○中学校教員との教務主任会・教科主任会や授業交流会などの合同会議を行い、すべての職員が協働して小中一貫カリキュラムの検証を行い質を高めます。 ○専任同士の情報交換を密にし、卒業生が円滑に中学校生活に移行できるようにします。 ○地域の行事等に積極的に参加できるよう、児童に情報提供を行います。

中期 取組 目標	○人との豊かな関わりを通し、成功体験をふやすことで自分に自信をもち、意欲的に活動に取り組む子どもを育てます。
	・多様な考えを働かせ、思考力・判断力・表現力等を身につけることで、主体的に学ぶ子どもを育てます。 ・人と豊かに関わることで、自分の良さに気づき、自己有用感をもてる子どもを育てます。 ・キラリンピックの取組や学校保健委員会の取組を通し、健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子どもを育てます。 ・まちとの関わりを大切に、地域社会の一員として、より豊かな人間関係を築ける子どもを育てます。 ・様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。

重点取組分野		具体的取組
知	授業づくり	①一人一人がめあてをもって、自分に合った学習が進められる力を養えるような授業の在り方について積極的に取り組む。 ②子どもが学ぶ楽しさを味わい夢中になって取り組めるように、教材研究を充実させ学習の総合化を図る。
	担当	
徳	特別支援教育	①ユニバーサルな視点を持ち、児童が安心して学習や友達との関係づくりができる環境を作る。 ②児童の困り感やニーズに対応するために取り出しの学習や教室内の個に応じた支援を周知し、充実させていく。
	担当	
体	保健管理	①家庭との連携とともに、児童会活動の取組や学校保健委員会を活用しながら、自立や実践につながるような姿を培う。 ②一校一実践運動を生かし、運動に親しむ機会を設けることで体力の向上を図る。
	担当	
公 開	自分づくり	①子どもが見通しをもって取組み、主体性をもって活動できるような取組を意図的に計画する。 ②自己肯定感を高められるように、「人とのつながり」を意識できるような活動を行う。
	担当	
いじめへの対応		①積極的ないじめ認知、ソーシャルスキルの計画的な実施によりいじめの未然防止に努める。 ②児童理解研修、いじめ防止研修などを実施し、普段から児童理解を高め、困り感をキャッチし、思いに寄り添えるように支援していく。
担当	児童指導	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①「笑顔いっぱい下和泉」を実現できるように、職員間の連携を大切にする。 ②「笑顔いっぱい下和泉」を実現できるように、働き方改革を推進する。
担当	経営推進	
担当		
担当		
担当		
担当		
担当		